

第5次徳島県保健医療計画 進捗状況について

（ 第4章 本県の保健医療提供体制 関係 ）

平成24年3月22日
第2回徳島県医療審議会

第5次徳島県保健医療計画について

○第5次医療計画の基本的考え方

～医療機能の分化・連携の推進による切れ目のない医療の提供～

- ◇病床数の量的管理から医療の安全・質を評価する医療計画へ
- ◇住民・患者に分かりやすい医療計画へ
- ◇数値目標を示し評価できる医療計画へ

○第5次医療計画の新しい要素

- ◇主要な事業(4疾病(がん, 脳卒中, 急性心筋梗塞, 糖尿病)及び5事業(小児, 周産期, 救急, 災害, へき地医療)ごとの医療連携体制の構築
- ◇主要な事業ごとに数値目標の設定, 事後評価できる仕組み
- ◇地域における医療機関の機能連携の状況を住民・患者にわかりやすく明示

4疾病

(医療法第30条の4第2項第4号に基づき省令で規定)
生活習慣病その他の国民の健康の保持を図るために特に広範かつ継続的な医療の提供が必要と認められる疾病
 として厚生労働省令で定めるものの治療又は
 予防に係る事業に関する事項

〈医療法施行規則第30条の28〉

- ・ がん
- ・ 脳卒中
- ・ 急性心筋梗塞
- ・ 糖尿病

5事業 [=救急医療等確保事業]

(医療法第30条の4第2項第5号で規定)
 → 医療の確保に必要な事業

- ・ 救急医療
- ・ 災害時における医療
- ・ へき地の医療
- ・ 周産期医療
- ・ 小児医療(小児救急含む)
- ・ 上記のほか、都道府県知事が疾病の発生状況等に照らして特に必要と認める医療

進捗状況

第1節 2 地域医療支援病院の整備

施策の方向

- ・地域医療支援病院は、紹介患者に対する医療提供、病床及び医療機器等の共同利用の実施等を通じて、かかりつけ医（歯科医）を支援する能力を有する病院
- ・各2次医療圏に1箇所以上の整備を目標

数値目標

数値目標項目	計画策定時の数値	H23年度実績見込	H24年度末目標値	進捗状況				説明	担当課
				達成	順調	努力	その他		
地域医療支援病院数	3 (H19)	6	7		○			・健康保険鳴門病院をH23年10月26日付けで承認（東部 I 医療圏）	医療政策課

- ☆「徳島県がん対策推進計画」における目標
- ★「徳島県健康増進計画（健康徳島21）」における目標
- ◇「徳島県医療費適正化計画」における目標
- ◆「オンリーワン徳島行動計画（第二幕）」における目標

進捗状況

第2節 1 がんの医療体制

目指すべき方向

- (1) 集学的治療(手術療法, 放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療)が実施可能な体制
- (2) 治療の初期段階から緩和ケアを実施する体制
- (3) 地域連携・支援を通じたがん診療水準の向上

各医療機能と連携

- (1) がんを予防する機能【予防・早期発見】
- (2) 専門的ながん診療機能【専門診療】
- (3) 標準的ながん診療機能【標準的診療】
- (4) 在宅療養支援機能【療養支援】
- (5) 部位ごとの方向性

数値目標

数値目標項目	計画策定時の数値	H23年度実績見込	H24年度末目標値	進捗状況				説明	担当課
				達成	順調	努力	その他		
がん年齢調整死亡率 ☆ ※(75歳未満)(人口10万人対) ※「10年以内に20%減少」を目標	88.3 (H17)	82.7 (H22)	10%減少 (79.5)		○			・H17に比べてH22は6.3%減少。 H20(82.1)、H21(78.5)、H22(82.7)。3年平均では8.1%減少。 ・「徳島県がん対策推進計画」の目標値である20%減少を目指したがん対策に取り組む。	健康増進課
がん診療連携拠点病院数 ☆ ※原則として各2次保健医療圏に1箇所程度整備	3 (H19)	4	6		○			<状況> ・平成22年4月から都道府県がん診療連携拠点病院に徳島大学病院、地域がん診療連携拠点病院に県立中央病院、徳島赤十字病院、徳島市民病院の4病院が指定された。(指定期間H22. 4. 1～H26. 3. 31) ・また、平成23年度より拠点病院に準じる機能を有する県指定の「徳島県地域がん診療連携推進病院」を新たに設置し、3病院を指定した。(拠点病院と推進病院の整備数は計7病院)	健康増進課
がん検診受診率 ☆★	胃がん 20.9% 肺がん 14.5% 大腸がん 16.2% 乳がん 22.8% 子宮がん 21.4% (H16)	胃がん 24.5% 肺がん 19.6% 大腸がん 18.4% 乳がん 20.9% 子宮がん 22.4% (H22)	部位ごとの 受診率 各50%以上				○	・がん検診受診率は、各がんとも増加傾向であるが、平成22年度の実績値は、すべての部位で全国平均を下回っている。 ・平成24年度においては、受診率向上のための総合的な事業を計画している。	健康増進課

進捗状況

第2節 2 脳卒中の医療体制

目指すべき方向

- (1) 発症後、速やかな搬送と専門的な診療が可能な体制
- (2) 病期に応じたリハビリテーションが可能な体制
- (3) 在宅医療が可能な体制

各医療機能と連携

- (1) 発症予防の機能【予防】
- (2) 応急手当・病院前救護の機能【救護】
- (3) 救急医療の機能【急性期】
- (4) 身体機能を回復させるリハビリテーションを実施する機能【回復期】
- (5) 日常生活への復帰及び(日常生活)維持のためのリハビリテーションを実施する機能【維持期①】
- (6) 生活の場で療養できるよう支援する機能【維持期②】

数値目標

数値目標項目	計画策定時の数値	H23年度実績見込	H24年度末目標値	進捗状況				説明	担当課
				達成	順調	努力	その他		
脳卒中死亡率（人口10万人対）★	総数 132.1 男性 132.3 女性 131.6 (H15)	総数 116.0 △12% 男性 114.4 女性 117.4 (H22)	25%減少 (対平成10年) 101.3 男性 101.1 女性 101.4				○	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定時に比べ、男女とも減少しているが、減少幅は12.2% ・塩分の摂取量は、全国平均10.2gに対して徳島9.6gと下回っている。また、H15と比較しても0.9g減少している。 ・運動習慣の定着化などの生活習慣の改善のための普及啓発に努める。 ・救急医療機関、消防機関等と連携を密にし救急医療体制の確保に努める。 	健康増進課 医療政策課
特定健康診査受診率 ★◇	男性 55.9% 女性 53.7% (H18)		70%以上				○	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定後となる平成20年4月に制度改正がなされ、それまでの基本健康診査とは検診対象者の範囲等が異なる特定健康診査に変更された。 ・平成22年度の市町村国保の検診受診率では、全国平均32.0%に対して、本県では33.1%となっている。 	健康増進課 国保長寿医療課
地域連携クリティカルパス導入医療圏数	—	6	6	○				<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年7月に県下全域で連携パスの運用を開始 ・普及啓発やさらなる医療連携に努める 	医療政策課

進捗状況

第2節 3 急性心筋梗塞の医療体制

目指すべき方向

- (1) 発症後、速やかに救命処置の実施と搬送が可能な体制
- (2) 発症後、速やかな専門的診療が可能な体制
- (3) 合併症予防や在宅復帰を目的とした心臓リハビリテーションが可能な体制
- (4) 在宅療養が可能な体制

各医療機能と連携

- (1) 発症予防の機能【予防】
- (2) 応急手当・病院前救護の機能【救護】
- (3) 救急医療の機能【急性期】
- (4) 身体機能を回復させる心臓リハビリテーションを実施する機能【回復期】
- (5) 再発予防の機能【再発予防】

数値目標

数値目標項目	計画策定時の数値	H23年度実績見込	H24年度末目標値	進捗状況				説明	担当課
				達成	順調	努力	その他		
虚血性心疾患死亡率(人口10万人対) ★	総数 67.0 男性 72.1 女性 62.3 (H15)	総数 61.2 男性 68.1 女性 54.9 (H22)	25%減少 (対平成10年) 49.7 男性 54.8 女性 45.2				○	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定時に比べ、男女とも減少しているが、減少幅は8.7% ・摂取エネルギーに占める脂質の割合が、H15の23.7%に比べ、H22で24.5%と上昇傾向がみられる。 ・バランスのとれた食生活など生活習慣の改善のための普及啓発に努める。 ・救急医療機関、消防機関等と連携を密にし救急医療体制の確保に努める。 	健康増進課 医療政策課
特定健康診査受診率 ★◇	男性 55.9% 女性 53.7% (H18)		70%以上				○	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定後となる平成20年4月に制度改正がなされ、それまでの基本健康診査とは検診対象者の範囲等が異なる特定健康診査に変更された。 ・平成22年度の市町村国保の検診受診率では、全国平均32.0%に対して、本県では33.1%となっている。 	健康増進課 国保長寿医療課
地域連携クリティカルパス導入医療圏数	—	6	6	○				<ul style="list-style-type: none"> ・急性期対応の4病院でパスの運用を開始 ・普及啓発やさらなる医療連携に努める 	医療政策課

進捗状況

第2節 4 糖尿病の医療体制

目指すべき方向

- (1) 糖尿病の治療及び合併症予防が可能な体制
- (2) 血糖コントロール不可例の治療や急性合併症の治療が可能な体制
- (3) 糖尿病の慢性合併症の治療が可能な体制

各医療機能と連携

- (1) 合併症の発病を予防するための初期・安定期治療を行う機能【初期・安定期治療】
- (2) 血糖コントロール不可例の治療【専門治療】
- (3) 急性合併症の治療を行う機能【急性増悪時治療】
- (4) 糖尿病の慢性合併症の治療を行う機能【慢性合併症治療】

数値目標

数値目標項目	計画策定時の数値	H23年度実績見込	H24年度末目標値	進捗状況				説明	担当課
				達成	順調	努力	その他		
治療中断率	13.3% (H15)	9.0% (H22)	0			○		・計画策定時に比べ4.3%減少 ・地域連携パスの普及に努める。	健康増進課
糖尿病による人工透析新規導入率 ★ (人口10万人対)	14.6 (H18)		36%減少 9.3				○	・日本透析医学会から承認を得て情報を得る必要があるため、計画の最終評価時点で把握予定である。	健康増進課
糖尿病有病者数(40～74歳) ★	男性 1.9万人 女性 1.2万人 (推計値)	男性 1.9万人 女性 1.8万人 (H22 推計値)	男性 1.7万人 女性 1.1万人			○		・男性は横ばいである。 ・女性は増加しており、特に60歳代において肥満者も増加しており、有病者も多くなっている。 ・運動習慣の定着化及び食生活の改善のための普及啓発に努める。	健康増進課

進捗状況

第3節 1 救急医療体制の整備

目指すべき方向

- (1) 適切な病院前救護活動が可能な体制
- (2) 重症度・緊急度に応じた医療が提供可能な体制
- (3) 救急医療機関等から療養の場へ円滑な移行が可能な体制

今後の取り組み

- (1) 救急医療体制の充実・強化
- (2) 救急搬送体制の充実・強化

数値目標

数値目標項目	計画策定時の数値	H23年度実績見込	H24年度末目標値	進捗状況				説明	担当課
				達成	順調	努力	その他		
初期救急：在宅当番医制参加医療機関数 (徳島市夜間休日急病診療所の運営に協力する徳島市医師会の医療機関を除く)	353 (H19)	336	現状維持			○		・計画策定時から17医療機関が減少 ・H22(347医療機関)から11医療機関が減少	医療政策課
2次救急：救急告示医療機関数	38 (H19)	36	現状維持			○		・平成23年3月に1病院(東部I救急医療圏)が撤回、平成23年4月に1病院(東部I救急医療圏)を追加、平成23年8月に1病院(東部I救急医療圏)が撤回	医療政策課
3次救急：救命救急センター数	3 (H19)	3	現状維持		○			・平成22年4月から徳島大学に寄附講座「ER・災害医療診療部(県立中央病院)」と「地域外科診療部(県立三好病院)」を設置し、救命救急センターを支援している。	医療政策課
うち高度救命救急センター数	1 (H20)	1	1	○				・平成21年6月16日付けで徳島赤十字病院を高度救命救急センターに指定	医療政策課
AED(自動体外式除細動器)の県立施設設置率	69.1% (H19)	94.3%	100%		○			・対象：157施設のうち、配置済：148施設	医療政策課

進捗状況

第3節 2 小児医療体制の整備

目指すべき方向

- (1) 子供の健康を守るために、家族を支援する体制
- (2) 小児患者に対し、その症状に応じた対応が可能な体制
- (3) 地域の小児医療が確保される体制
- (4) 療養・療育支援が可能な体制

今後の取り組み

- (1) 小児救急電話相談事業
- (2) 小児科医師の養成・確保
- (3) 小児救急医療体制の強化

数値目標

数 値 目 標 項 目	計画策定時の数値	H23年度実績見込	H24年度末目標値	進捗状況				説 明	担 当 課
				達成	順調	努力	その他		
小児救急医療拠点病院数 ◆	1 (H19)	1	2			○		・H24.10の開院に合わせ、県立中央病院を24時間365日小児救急患者を受け入れる小児救急拠点病院の指定に向け準備していく。	医療政策課
徳島こども救急電話相談 実施日数 ◆	土日・祝日 年末年始 (18～23時)	365日 (18～ 翌朝8時)	365日	○				・平成20年4月から相談日を毎日(18～23時)に拡大 ・平成21年11月から相談時間帯を18:00～翌朝8:00に拡大	医療政策課

進捗状況

第3節 3 周産期医療体制の整備

目指すべき方向

- (1) 正常分娩等に対し安全な医療提供するための地域周産期施設間の連携
- (2) 地域における中リスクに対応可能な体制
- (3) 周産期の対応が24時間可能な体制
- (4) 地域の周産期医療が確保される体制
- (5) NICUを退所した新生児の療養・療育支援が可能な体制

今後の取り組み

- (1) 救急搬送体制の強化
- (2) 産科医師・助産師の養成・確保
- (3) 周産期医療体制の強化

数値目標

数値目標項目	計画策定時の数値	H23年度実績見込	H24年度末目標値	進捗状況				説明	担当課
				達成	順調	努力	その他		
周産期死亡率(出産千対)	5.7 (H17)	4.4 (H22)	全国平均以下		○			・計画策定時から22.8%減少(全国平均(H22)は4.2)。 ・平成23年3月に策定した徳島県周産期医療体制整備計画に基づきNICU等の病床増をはじめとする体制の充実を図っている。	健康増進課
妊産婦死亡率(出産10万対)	3.0 (H17)	3.3 (H22)	全国平均以下	○				・全国平均以下で推移(全国平均(H22)は4.1) ・平成23年の死亡件数は1件。(算定の基礎となる出生数が少ないため、件数の増減が率の変動に与える影響が大きい。)	健康増進課
地域周産期母子医療センター整備	—	2箇所	1箇所以上	○				・徳島県周産期医療体制整備計画に基づき、平成23年4月より東部、南部医療圏において徳島市民病院と徳島赤十字病院を認定。	健康増進課

進捗状況

第3節 4 災害医療体制の整備

目指すべき方向

- (1) 災害急性期(発災後概ね48時間以内)において必要な医療が確保される体制
- (2) 急性期を脱した後も住民の健康が確保される体制

今後の取り組み

- (1) 医療救護体制の充実・強化
- (2) 広域災害医療情報システム
- (3) 災害派遣医療チーム(DMAT)

数値目標

数値目標項目	計画策定時の数値	H23年度実績見込	H24年度末目標値	進捗状況				説明	担当課
				達成	順調	努力	その他		
災害医療を熟知した医療救護チーム数 ◆	7 (H19)	18	14	○				・平成23年度は、3チームが国のDMAT研修を受講	医療政策課
広域災害医療情報システム登録医療機関数	34 (H19)	50	全ての医療機関			○		・平成20年6月にシステムの運用開始し、災害拠点病院や救急告示病院が登録し、毎年、運用訓練を実施 ・今年度は、平成23年10月に運用訓練を実施	医療政策課

進捗状況

第3節 5 へき地医療体制の整備

目指すべき方向

- (1) 医療を確保する体制
- (2) 診療を支援する体制

今後の取り組み

- (1) へき地医療拠点病院の充実
- (2) 救急搬送体制の強化
- (3) へき地医療の普及啓発
- (4) 地域医療支援機構の充実・強化
- (5) 徳島大学との地域医療に関する共同研究

数値目標

数 値 目 標 項 目	計画策定時の数値	H23年度実績見込	H24年度末目標値	進捗状況				説 明	担 当 課
				達成	順調	努力	その他		
夏期地域医療研修に参加した医学部生数 ◆	30 (H19)	延べ103名 (H19～23)	延べ150名 (H19～24)			○		・平成23年度「夏期地域医療研修」については、海部郡・三好市・那賀町において実施し、22名の医学生が参加 ※H21は新型インフルエンザにより中止	医療政策課
へき地医療拠点病院数	5 (H19)	6	5	○				・徳島赤十字病院を平成24年2月1日付けで指定	医療政策課

**数値目標全27項目中
(達成8項目、順調6項目、努力10項目、その他3項目)**